

東静岡地区のまちづくりに関する説明会

次 第

日時：令和8年6月8日（月）

19時00分～20時30分

場所：長沼公民館（長沼4区公民館）

1 副市長挨拶

2 内 容

(1) 東静岡地区まちづくり基本構想

資料 1

(2) アリーナの進捗状況について

資料 2

(3) ペDESTリアンデッキの検討状況と

測量調査のお願い

資料 3

(4) まちづくりの取組状況について

資料 4

3 意見交換

4 総括

2. まちづくりの5つの方針

① 文化・スポーツの拠点としての、まちの新たな価値づくり

- 東静岡駅北口の静岡市アリーナや、南口の新県立中央図書館の整備を活かした、文化・スポーツ・音楽と触れ合える空間づくり
- 既存のグランシップを含めた各施設の連携と、施設を活用した人が集まる仕組みづくり
- 文化・スポーツの資源等の固有の魅力を活かした、選ばれるまちづくり 等



② 若者や子どもが、夢や希望を持てるまちづくり

- 若者・子育て世代が「住み続けたい、訪れたい」と感じ、進学や就職で一度静岡市を離れても、帰ってきたくなるまちづくり
- 市外・県外の方が「住んでみたい、訪れてみたい」と思えるまちづくり
- まち全体で「青春（自分のやりたいことに向かって真剣に取り組む状態）」を、育み・支え・応援できる空間・仕組みづくり
- 学生や子ども達と地域をつなぐ場での滞在・交流を通して、地域への関心や愛着を育てる（教育機関との連携等）



③ 誰もが移動しやすく、住みやすいまちづくり

- 鉄道・バスや自転車に加え、次世代モビリティ*、モビリティハブ*の導入も含めた、誰もが移動しやすいまちづくり（バリアフリー、ユニバーサルデザイン、利便性の高い公共交通、自転車の走行空間や駐輪スペースの確保等）
- 安全・安心で住みやすいまちづくり（AIオンデマンド交通*等の新たな技術・交通体系を活用した、医療・福祉施設や教育施設、産業・商業施設との連携）
- 東静岡駅～長沼駅の連絡動線の強化（ペDESTリアンデッキの整備等）
- 地域の生活環境の保全に向けた、国道1号等の道路の渋滞対策

*次世代モビリティ：最新技術を用いて従来の交通手段や交通システムを進化させたもの
 *モビリティハブ：公共交通機関やシェアモビリティ等複数のモビリティの乗り換えの拠点
 *AIオンデマンド交通：AIを活用し、利用者予約に対しリアルタイムに最適配車を行うシステム



④ 多様な都市機能が充実し、居心地が良く歩きたくなる空間づくり

- 土地の使い方やまちの密度のルールの柔軟な見直しによる良質な民間投資の誘発（ホテル・商業施設等の立地や、生活環境の改善）
- 低未利用地を活用した都市開発による魅力的な空間づくり
- 多様な人々が思い思いに過ごすことができる、人中心で居心地が良く歩きたくなる空間づくり
- 多様な世代にとって住みやすい住環境を創出するための、暮らしを豊かにする都市機能の充実
- 災害時には安全に避難できる空間や設備の確保 等



⑤ 豊かな緑を身近に感じ、美しい景観に浸ることができる環境づくり

- 健康で快適な生活・気候変動対策・生物多様性の確保等に向けた、緑地保全や緑化推進
- 市民が身近に自然と親しむ里山公園として、谷津山などの自然環境の保全や活用の推進
- 公共建築物や民間施設での敷地内緑化などによる、良質な都市緑地の創出
- 環境に配慮した都市開発事業の促進（ZEB*、再生可能エネルギーの導入等）
- 富士山や谷津山の眺望等の地域の特性を活かした、美しく風格ある景観の形成

*ZEB：省エネ、創エネによりエネルギー消費量の収支ゼロを目指す建物



3. まちづくりの主要プロジェクト

① 静岡市アリーナ【該当する方針：①②④⑤】

- めざすアリーナ
 - 最高峰のプロスポーツの試合や大きなコンサートなど、これまでの市内の施設では開催できなかった、さまざまな大型イベントを開催できる多目的アリーナ（8,000席以上）の実現をめざします。
- まちづくりにつながる多機能施設
 - アリーナ単体ではなく、まちづくりにつながる多機能施設（宿泊施設・飲食・物販・教育施設等）をアリーナの付帯施設として検討します。
- 防災施設としてのアリーナ
 - 大きな災害のときは、広い屋内スペースを活かした支援物資の受け入れ、仕分けのほか、避難所として避難者の受け入れを担う防災拠点となります。



アリーナのイメージ（沖縄アリーナ）

② 新県立中央図書館【該当する方針：①②④⑤】

- 静岡県は、現在の県立中央図書館を東静岡駅南口に移転する予定です。
- 県立中央図書館は、「静岡県立葵文庫」として1925年4月1日に開館し、2025年4月1日に100周年を迎えています。
- 新県立中央図書館は、デジタル技術の進展などを踏まえた新施設となる見込みです。

③ ペDESTリアンデッキ【該当する方針：③④】

- 東静岡駅、長沼駅とアリーナをつなぎ、歩行者と自動車の動線を分けることで、来場者や住民が安全・快適に通行・滞在できるよう、ペDESTリアンデッキ（高架の歩行者空間）を整備します。

④ 新たな交通システムの導入【該当する方針：③】

- 来訪者の地区内外の回遊を促すとともに、地区住民の買い物や通院など日常生活の利便性向上を図るため、AI（人工知能）を活用した、移動のニーズに合わせて運行する乗り合いの交通手段の導入をめざします。

⑤ 土地利用規制（都市計画）の見直し【該当する方針：①②④】

- 地区内の土地のより自由かつ高度な利用を可能とし、商業施設やホテル等が立地しやすくなるよう、国道1号沿線、南幹線沿線等の土地の使い方やまちの密度のルールをバランスよく変えていくことを検討します。

⑥ 里山公園（谷津山）の保全・活用【該当する方針：⑤】

- 谷津山は、市民が徒歩等でアクセスできる市街地に近接した貴重な自然環境であり、社会全体の力による「共創」により自然環境の保全と活用を進めていきます。

⑦ 低未利用地を活用した、まちの魅力を高める都市開発【今後、具体化していくプロジェクト】

- 地区内に点在する県有地・市有地等の低未利用地を活用し、県市連携による魅力的な都市空間の実現に向けた都市開発を進めます。



※出典：LIFE Streaming



※出典：東静岡「緑と水が踊り出す新しい街計画」子育て世代の集う、持続可能な理想都市
まちの魅力を高める都市開発のイメージ（アイデアコンペでの提案より）



※出典：ヒガシズ 際立つ！

■ 役割分担と今後の進め方

まちづくりを進めていくためには、市民や事業者等の様々な主体と行政がお互いに役割を明確にしつつ、連携・協力してまちづくりを進めていくことが必要です。



アリーナの進捗状況について



1-1 静岡市アリーナの検討の経緯

- 1991(平成3)年
 - ・東静岡に多目的アリーナを計画
- 2022(令和4)年2月
 - ・東静岡をアリーナ予定地として選定
- 2023(令和5)年3月
 - ・「静岡市アリーナ誘致方針」を策定

難波市長就任～アリーナの事業化

- 2023(令和5)年4月
 - ・難波市長就任
- 2024(令和6)年1月
 - ・市長と地元代表(長沼地区)との意見交換(第1回)
- 2024(令和6)年2月
 - ・市長と地元代表(長沼地区)との意見交換(第2回)
- 2024(令和6)年5月
 - ・長沼地区「アリーナと東静岡のまちづくり構想」意見交換会
- 2024(令和6)年11月
 - ・「静岡市アリーナ基本計画(案)」市民説明会
- 2025(令和7)年1月
 - ・市長と地元代表(長沼地区)との意見交換(第3回)
- 2025(令和7)年1月
 - ・「静岡市アリーナ基本計画」を策定
- 2025(令和7)年3月
 - ・静岡市アリーナ整備・運営事業を事業化(予算化)(令和7年2月議会)

アリーナ事業者選定～契約締結

- 2025(令和7)年8月
 - ・事業者公募開始(入札公告)
- 2026(令和8)年2月
 - ・落札者決定(The Shizuoka Alliance)
- 2026(令和8)年4月
 - ・落札者が事業者((株)静岡セントラルアリーナ)を設立
- 2026(令和8)年7月
 - ・事業者と契約締結(見込)(令和8年6月議会)

1-2 事業者提案の概要

●静岡市アリーナ整備・運営事業落札者

【グループ名】 The Shizuoka Alliance			
構成企業 (10社)	【代表企業】(株)NTTドコモ	協力企業 (7社)	(株)梓設計
	インフロニア・ホールディングス(株)		前田建設工業(株)
	SFG不動産投資顧問(株)		静鉄建設(株)
	木内建設(株)		平井工業(株)
	静岡鉄道(株)		東海旅客鉄道(株)
	(株)SBSプロモーション		(株)電通東日本
	静岡ガス(株)		東レアローズ(株)
	(株)VELTEXスポーツエンタープライズ		
	(株)東急コミュニティー		
	芙蓉総合リース(株)		

●落札額等

・落札額(市負担額)	30,000,000,000円(税込)	} →	アリーナ整備費
・運営権対価	6,363,449,988円(税込)		36,363,449,988円(税込)

●提案内容の評価

- ・運営権対価を含めた提案(静岡市アリーナの可能性が事業者から高く評価されている。)
- ・市の想定した来場者数(70万人/年)を上回る来場者目標(112万人/年)を掲げ、市全域への経済波及効果が大きい。
- ・事業者の他都市アリーナでの運営の経験を活かした目標達成が期待できる。

1-2 事業者提案の概要

コンセプト:「REBOOT SHIZUOKA -感動で、静岡の未来を加速させる-」

■Mission1:最高の熱狂で、誰もがあこがれる場へ

国内最高水準のアリーナ環境と域内外の大規模コンテンツ誘致により、来場者・選手・演者のあこがれの場へ。

アクションプラン:

「観る」を超え、五感を揺さぶるスマート・アリーナ体験



■Mission2:「静岡の誇り」を育み、その魅力を世界へ

世界に向け静岡の魅力を発信。アリーナを起点とした街への積極的な送客により、市内外を問わず静岡に好意を持つ機会を増やす。

アクションプラン:

アリーナから地域へ積極送客
静岡が誇る「食・景・文化」を魅力的にプレゼンテーション



■Mission3:地域のビジネスイノベーションのハブとなる

本事業を通じた地域資源の活用により、地元の参画機会拡大を目指す。

アクションプラン:

地域とアリーナが共に成長する、エコシステムの形成



1-3 アリーナのイメージ（施設計画）




来場者目線
～観るアリーナとして～
ボウルデザイン


主催者目線
～選ばれるアリーナとして～
フレキシブルデザイン


その他利用者目線
～集うアリーナとして～
コミュニティデザイン

誰もが快適、安全に利用できる
来場者ファーストライブアリーナ
音楽興行時には没入感のある
10,000人の観客席を確保します。

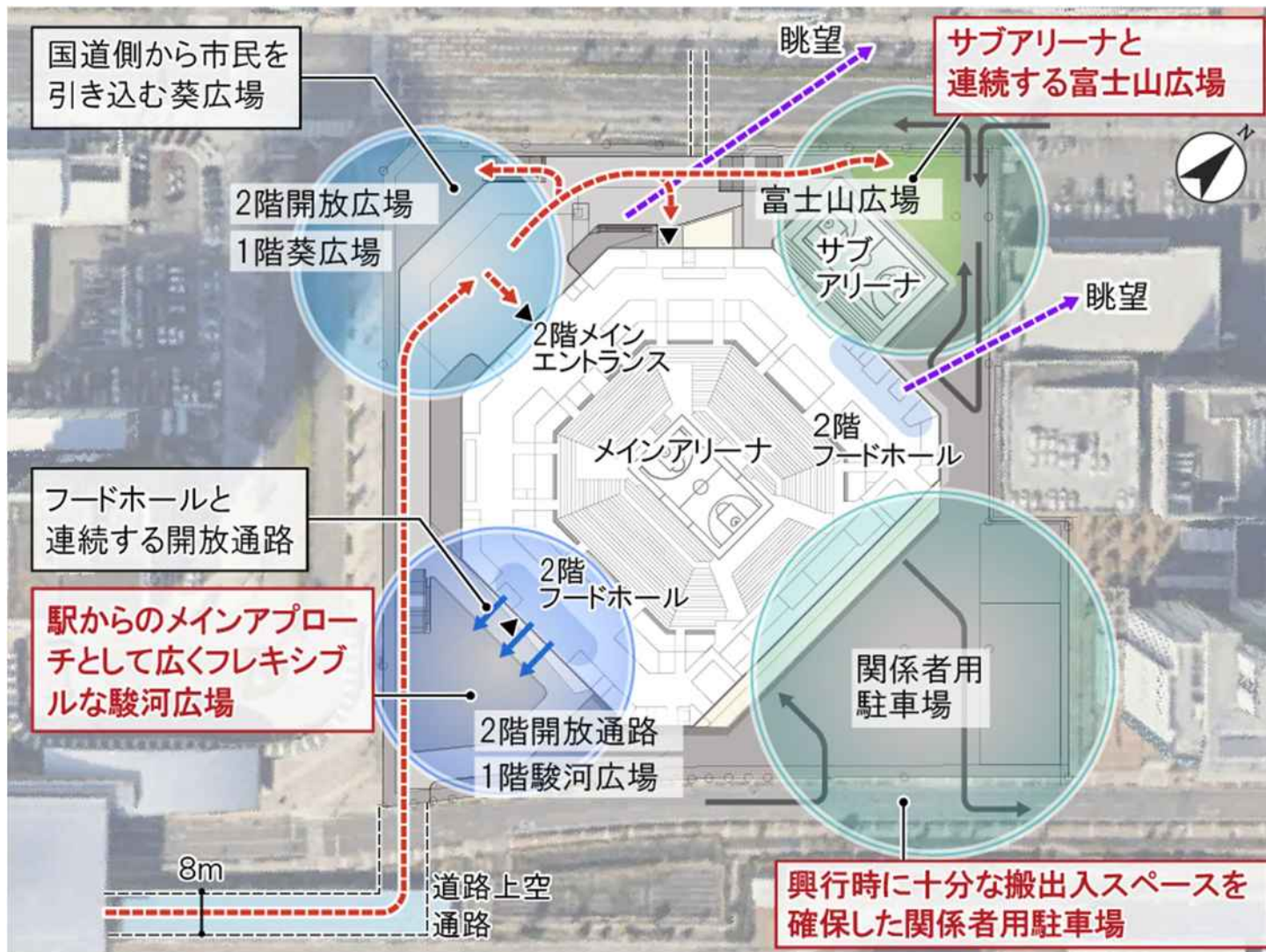
多様な利用に応え、可能性を
開くマルチ・ステージアリーナ
スポーツ・音楽興行の迅速な転
換対応し、観戦・観賞環境を
最適化したボウル形状

日常の賑わいを多角に生む
コミュニティアリーナ
八角形の平面形状を45度傾け
た配置で生み出される**3つの広場**
により賑わいをもたらします。

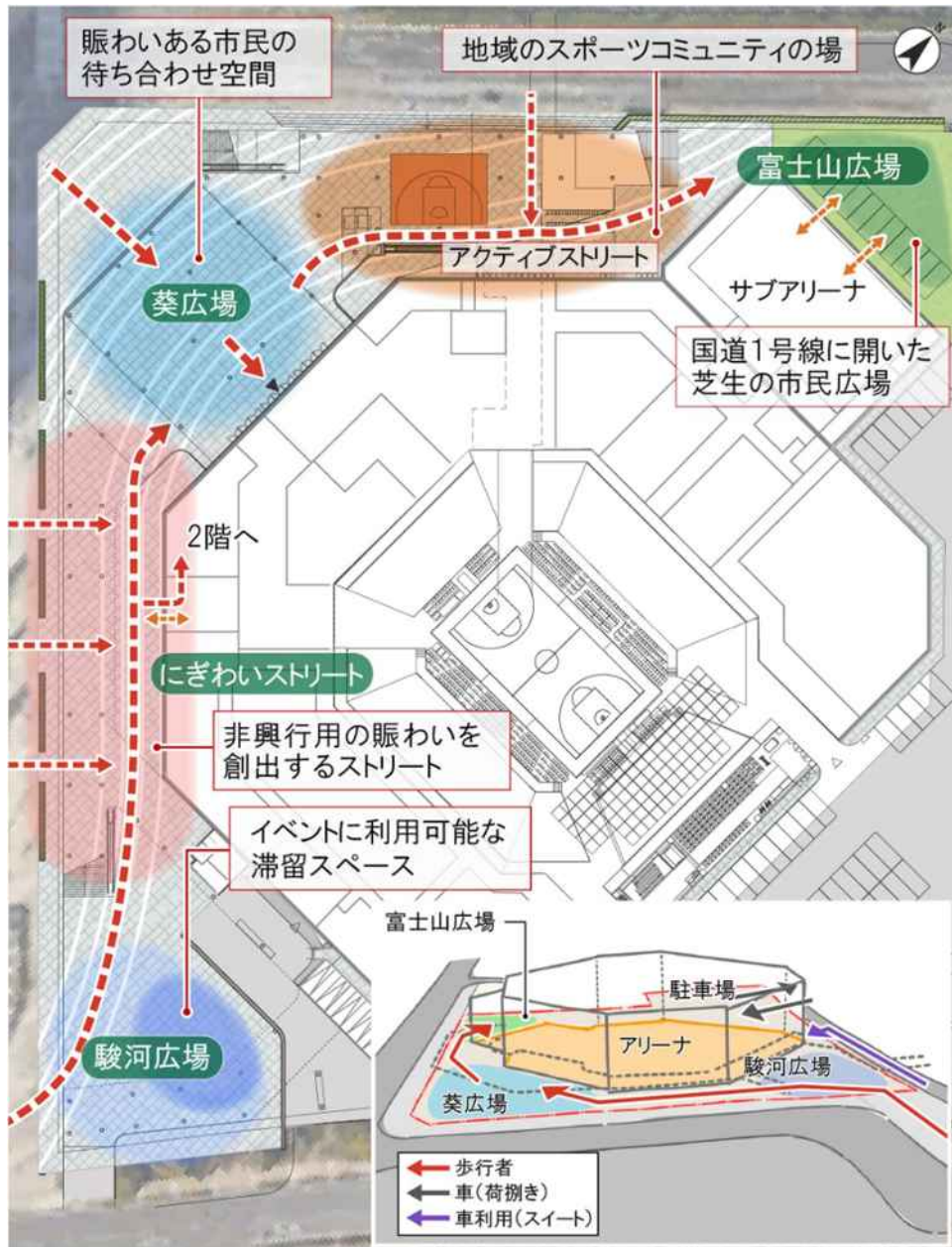
1-4 施設計画（施設配置）

来場者を迎え入れ街に賑わいを発信する配置計画

- ・アリーナを敷地に対して45度傾けた配置とし、4方向に特色豊かな空間を計画
- ・賑わいを生み出す3つの広場
- ・十分な搬出スペースを確保した外構計画



1-4 施設計画（施設配置）



広場計画イメージ



葵広場(アリーナ正面 国道1号側)からのイメージ



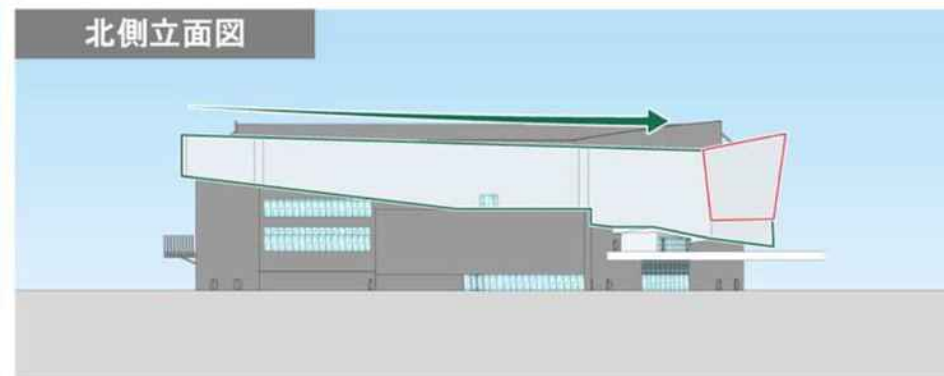
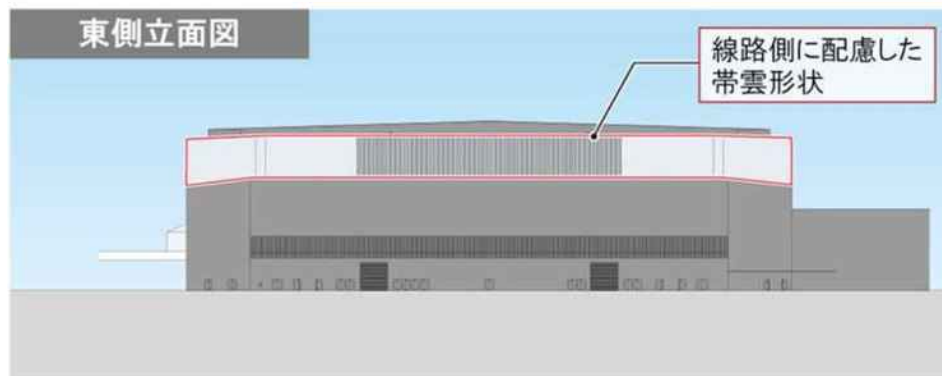
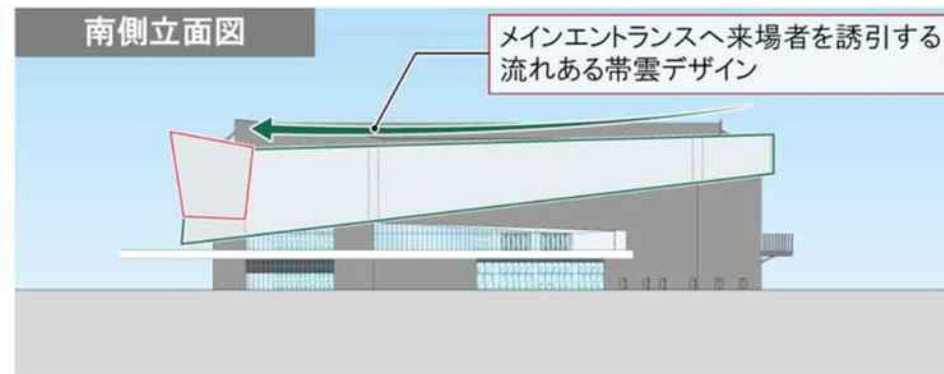
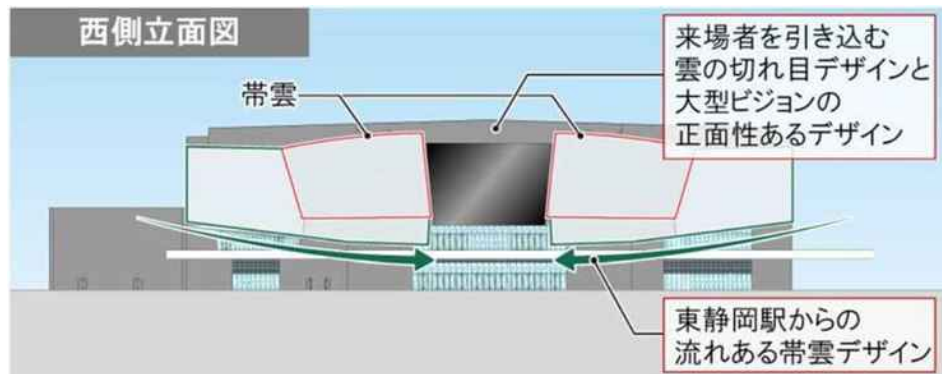
富士山広場(サブアリーナ前)イメージ



アクティブストリート(マルチコート)イメージ

1-5 外観デザイン

アリーナがつくる賑わいと熱狂の上昇気流が広がる姿として、渦を巻き上昇する様の笠雲をモチーフに静岡らしい外観デザイン



1-6 空間デザイン

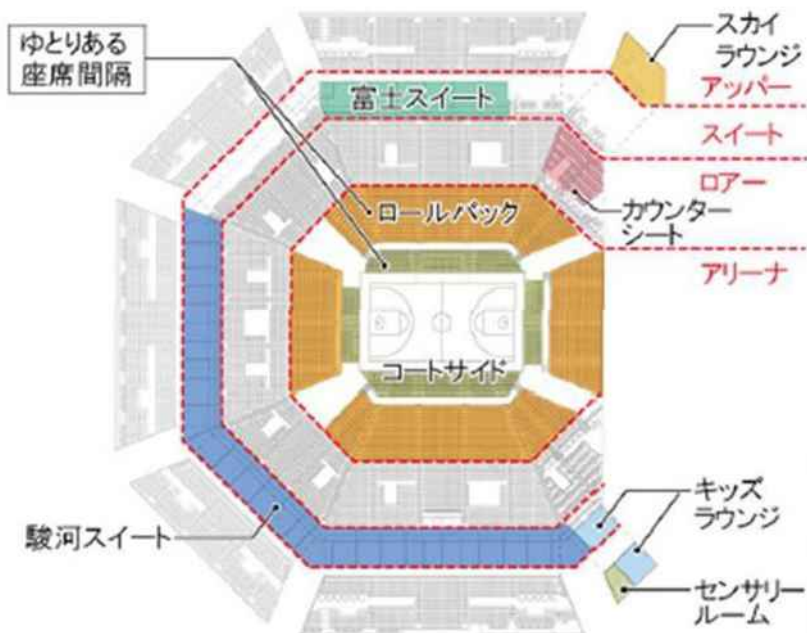
- ・非日常のわくわく感を醸成する空間演出
- ・外部からアリーナまで「熱狂」が連続する、驚きと高揚感をつなぐ開放的なアリーナ
- ・多彩なホスピタリティを提供するスイートエリア



メインアリーナイメージ



フードホールイメージ



バラエティに富んだシートバリエーション



カウンターシート



キッズラウンジ



センサリールーム



スカイラウンジイメージ



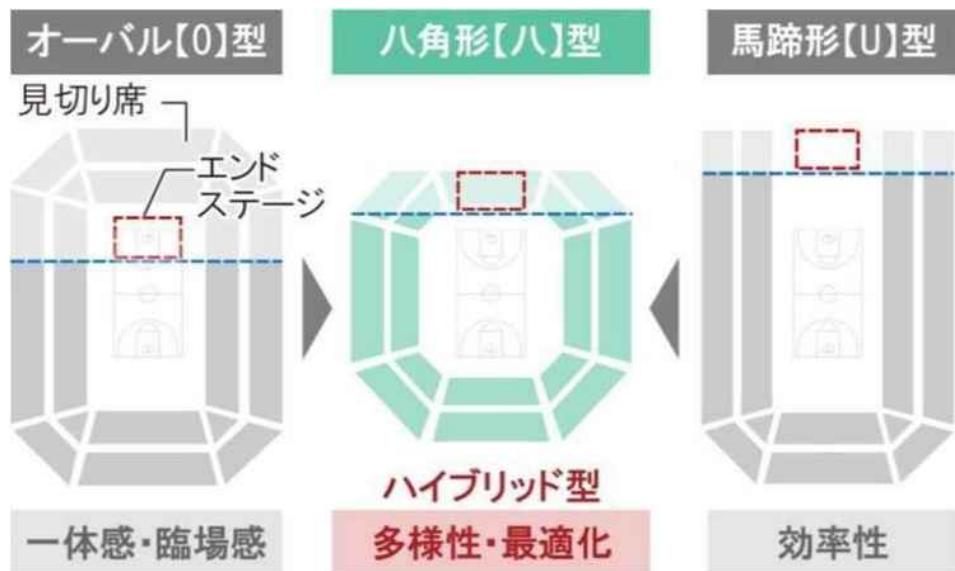
スイートルームイメージ

1-6 空間デザイン

ボウルデザイン (メインアリーナ)

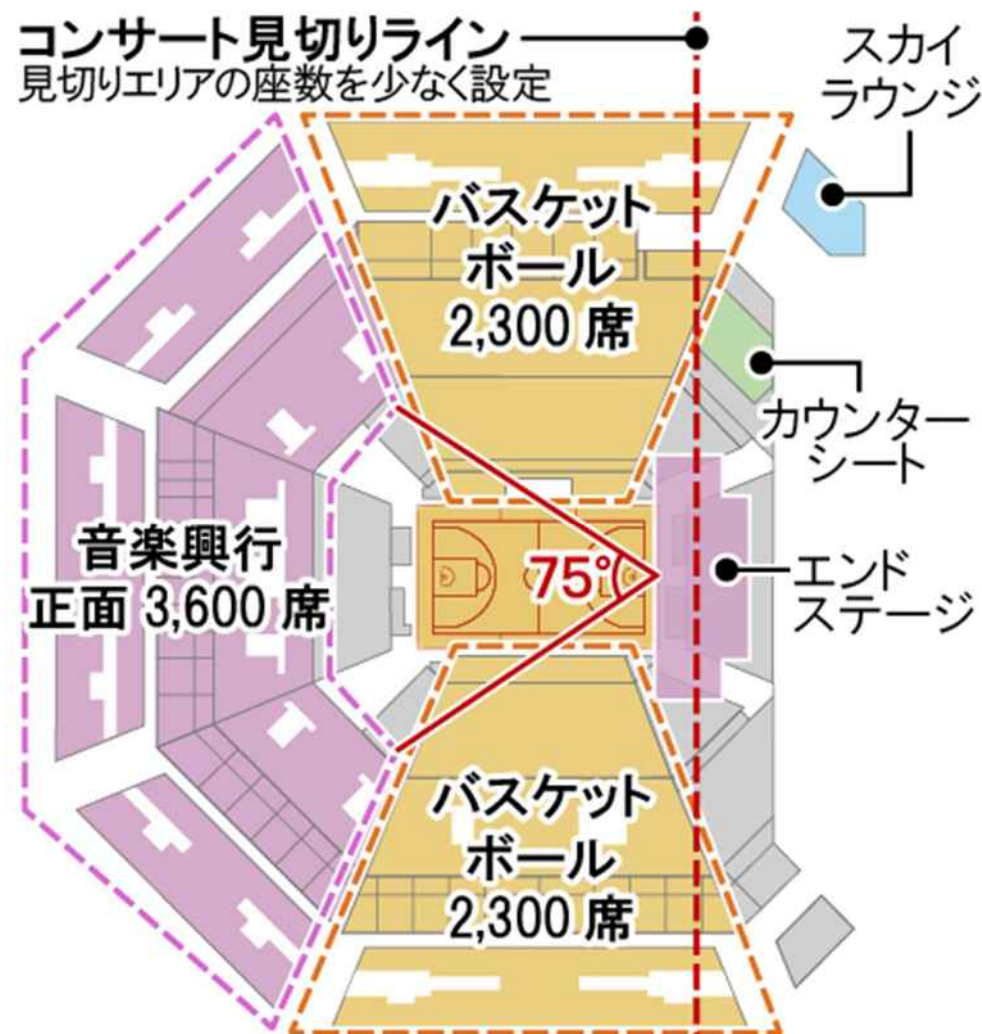
あらゆる興行で正対する座席を最大限確保できる八角形型ボウルデザインにより、施設稼働の最大化と来場者の観戦体験向上を両立

- ・可動席、移動可動席を組み合わせることで、多様な座席レイアウトが可能
- ・音楽興行、スポーツ興行ともに10,000席程度のレイアウトが可能



ロングモード L61mxD27m	ワイドモード W53mxD35m	ミックスモード W31mxD44m
フットサルやバドミントンなどの大規模スポーツ大会等	大規模武道大会等	eSports、アイスショーなど大型ステージ等

観客席の可変レイアウト例



座席レイアウト

1-7 防災拠点としての取組

「災害に強い施設整備計画」と「災害に備えた維持管理・運営計画」を通じて、地域住民の安全を守る「地域のためのアリーナ」を実現

【緊急物資集積所】

- ・11tトラックの搬入室や仕分けスペースとして利用
- ・備蓄倉庫を設け、必要な物資を備蓄

諸室	活用方法
・メインアリーナ ・サブアリーナ	・大型トラックが入場可能な幅員、動線、荷役作業スペース

【避難者・要配慮者に寄り添った防災拠点】

- ・各諸室を利用者特性に応じた範囲に設定
- ・男性と女性で専用エリアを分け、プライバシーや精神的ストレスを軽減
- ・年配者や障がい者の利用諸室をトイレ等に近いエリアに設定し、移動による身体的ストレスを軽減
- ・スイート専用キッチン は避難者に温かい食事を提供できる計画とする。

諸室	活用方法
・スイートルーム	・要配慮者を優先した避難スペース
・客席、控室等	・帰宅困難者や被災者の避難スペース
・コンコース	・物資の配給場所や避難スペース
・スイートキッチン	・一部調理設備、冷蔵庫等を非常電源回路とした、非常時の炊き出しスペース
・控室	・要配慮者専用のシャワースペース
・事務所、控室 ・防災センター	・事務所や控室等の空調や照明を非常電源回路とし、災害対策本部として機能維持

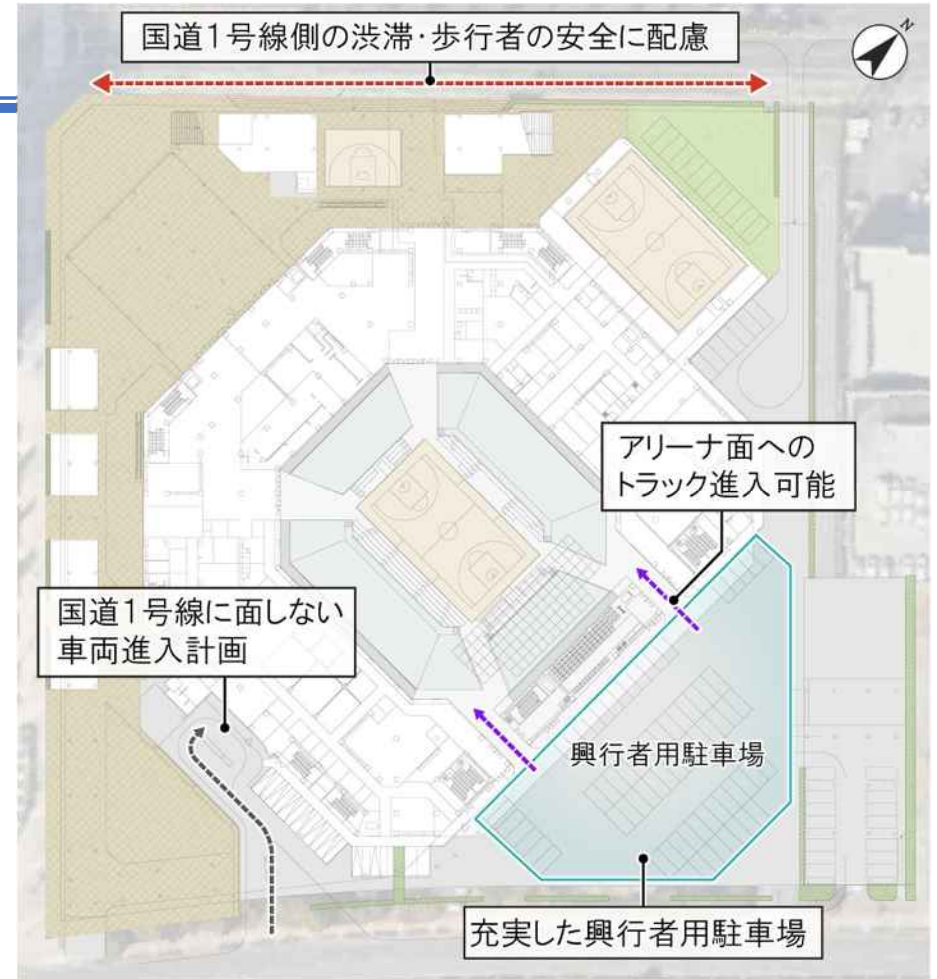
1-8 イベント時の交通対策

【主催者等に向けた取組】

- ・主催者やスイート利用者等の車両が進入する動線は、国道1号を避けて配置し、周辺の渋滞に配慮
- ・主催者用の駐車場は十分な台数を確保し、近隣への渋滞に配慮

【来場者に向けた取組】

- ・開業前に人流シミュレーションを実施し、JR東海(東静岡駅)及び静岡鉄道(長沼駅)と協力し、適切な誘導計画を策定
- ・興行開催時は交通誘導を徹底し、交通マナーの徹底を来場者へ促す。
- ・駐車場は来場者へ開放せず、静岡鉄道やJR東海の鉄道を増便することや、臨時バスの運行を検討し、交通混雑を緩和



懸念される影響	対策案
・混雑時の安全確保	・警備員の配置、歩行者と自動車動線の区分 ・各最寄り駅と協力した歩行者動線計画の構築
・公共交通機関の混雑対策	・規制退場の徹底による周辺への混雑緩和 ・分散退場の徹底 ・アリーナ内外の店舗への誘引によって、滞留時間増加による交通機関の分散乗車 ・構成企業、協力企業が有する鉄道輸送の増便、シャトルバスの運行を検討
・興行時の交通渋滞、路上駐車対策	・交通誘導の徹底、違法及び迷惑駐停車への警戒 ・公共施設の駐車場との連携やパーク＆ライドの検討 ・公共交通の利用をPR

2-1 事業スケジュール

事業に参画する民間事業者の確保や、社会的・経済的効果の早期発現など、事業の実現性や効果が高まるため、できる限り早期の実現を目指す。

【全体スケジュール(予定)】

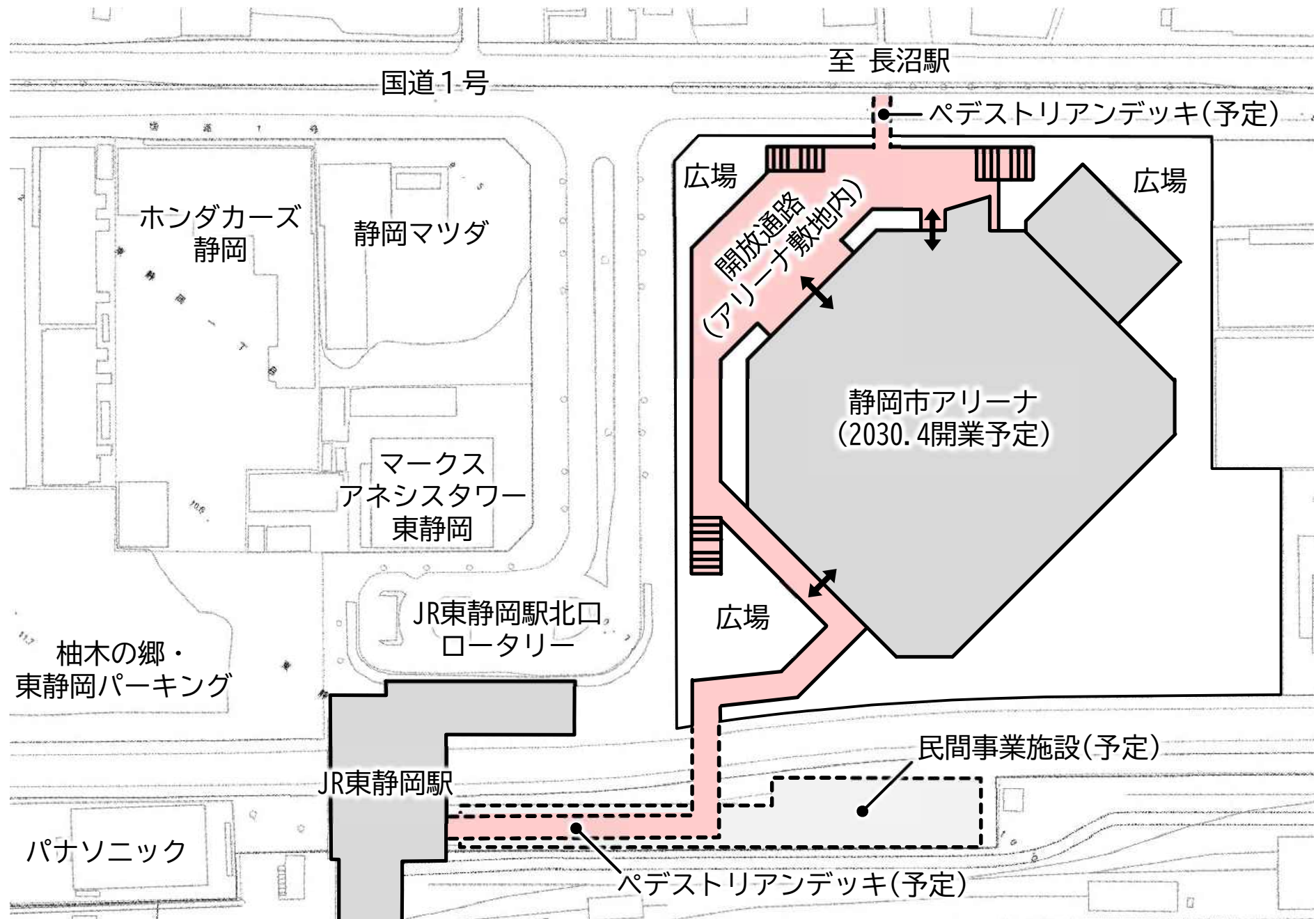
- ・2024年度 基本計画の策定
- ・2025～2026年度 事業者募集・選定・契約
- ・2026～2029年度 基本・実施設計、建設工事
- ・2030年春 開業

- 2025.8 入札公告
- 2026.1 事業提案書の提出
- 2026.2 落札者の決定及び公表
- 2026.3 落札者(代表企業)と基本協定締結
- 2026.5 SPCと仮契約締結
- 2026.7(6月議会) 特定事業契約の締結議決(見込)

【事業者選定スケジュール 2025年～2026年】



3-1 ペDESTリアンデッキのルート案 (JR東静岡駅～国道1号)

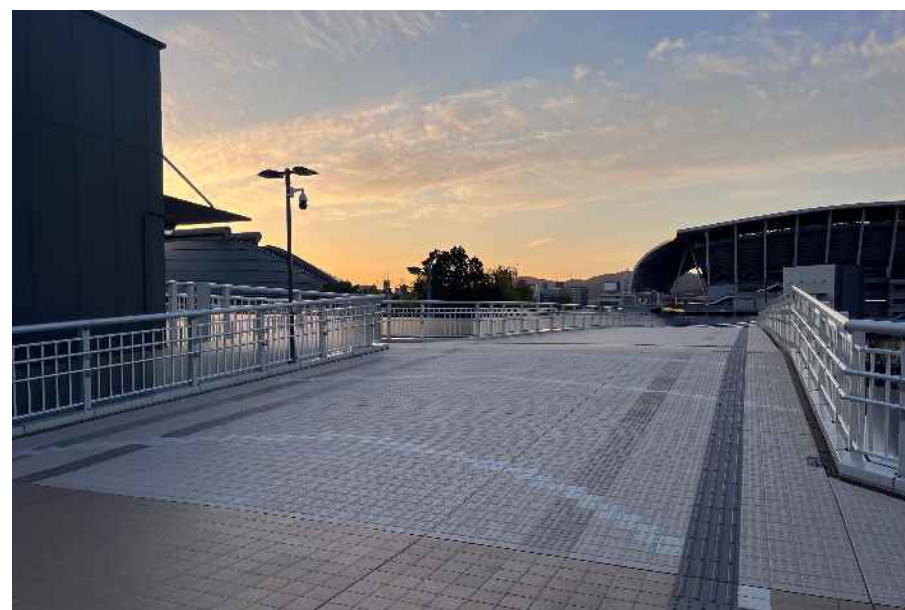


3-2 施設周辺のペDESTリアンデッキの事例

【SAGAアリーナ（佐賀市）】



【エディオンピースウィング広島（広島市）】



ペDESTリアンデッキの検討状況と 現地調査のお願いについて

2026年 6月8日(月)

本日の説明内容

1 ペDESTリアンデッキの検討状況

- (1) ルートの選定について
- (2) 現在のルート案について
- (3) 今後のルート決定に向けた流れ
- (4) 他都市の事例

2 現地測量調査

- (1) 対象範囲
- (2) 測量作業について
- (3) 作業日程

3 周辺環境への対策

- (1) 工事中の騒音・振動の対策
- (2) 整備後の騒音・視線の対策

4 今後のスケジュール

1 ペDESTロリアンデッキの検討状況

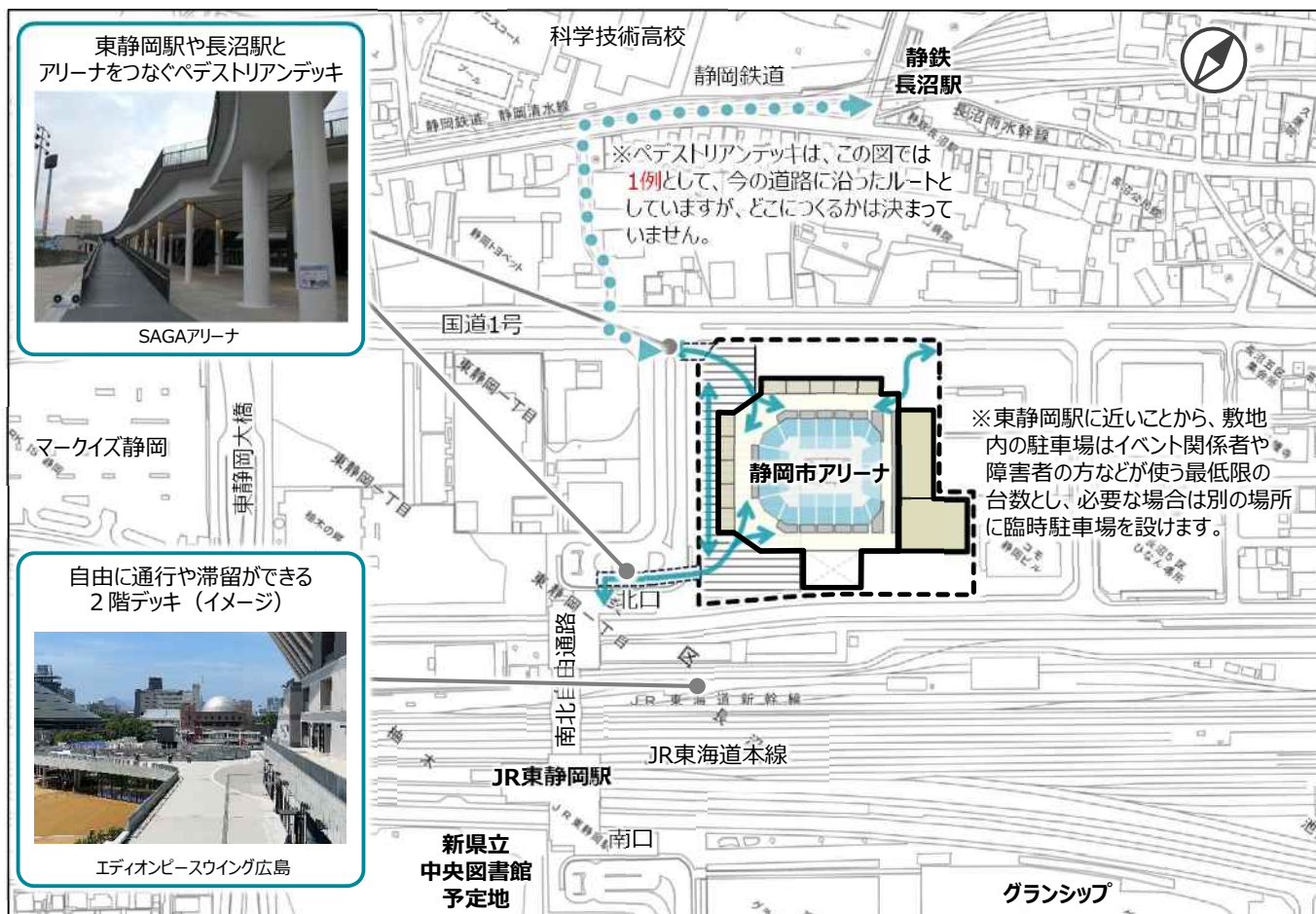
(1) ルートの選定について

■まちをつなぐペDESTロリアンデッキ

- 東静岡駅、長沼駅とアリーナをつなぎ、歩行者と自動車の動線を分けることで、来場者や住民が安全・快適に通行・滞在できるよう、ペDESTロリアンデッキ（高架の歩行者空間）を整備します。
- アリーナへの来訪者は、ペDESTロリアンデッキを通行し、駅とアリーナとの間を直接行き来することができます。
- 地域住民の方は、駅や周辺施設・住宅の間を安全・快適に通行できる通路としてペDESTロリアンデッキを利用していただけます。

■ペDESTロリアンデッキのルートの選定

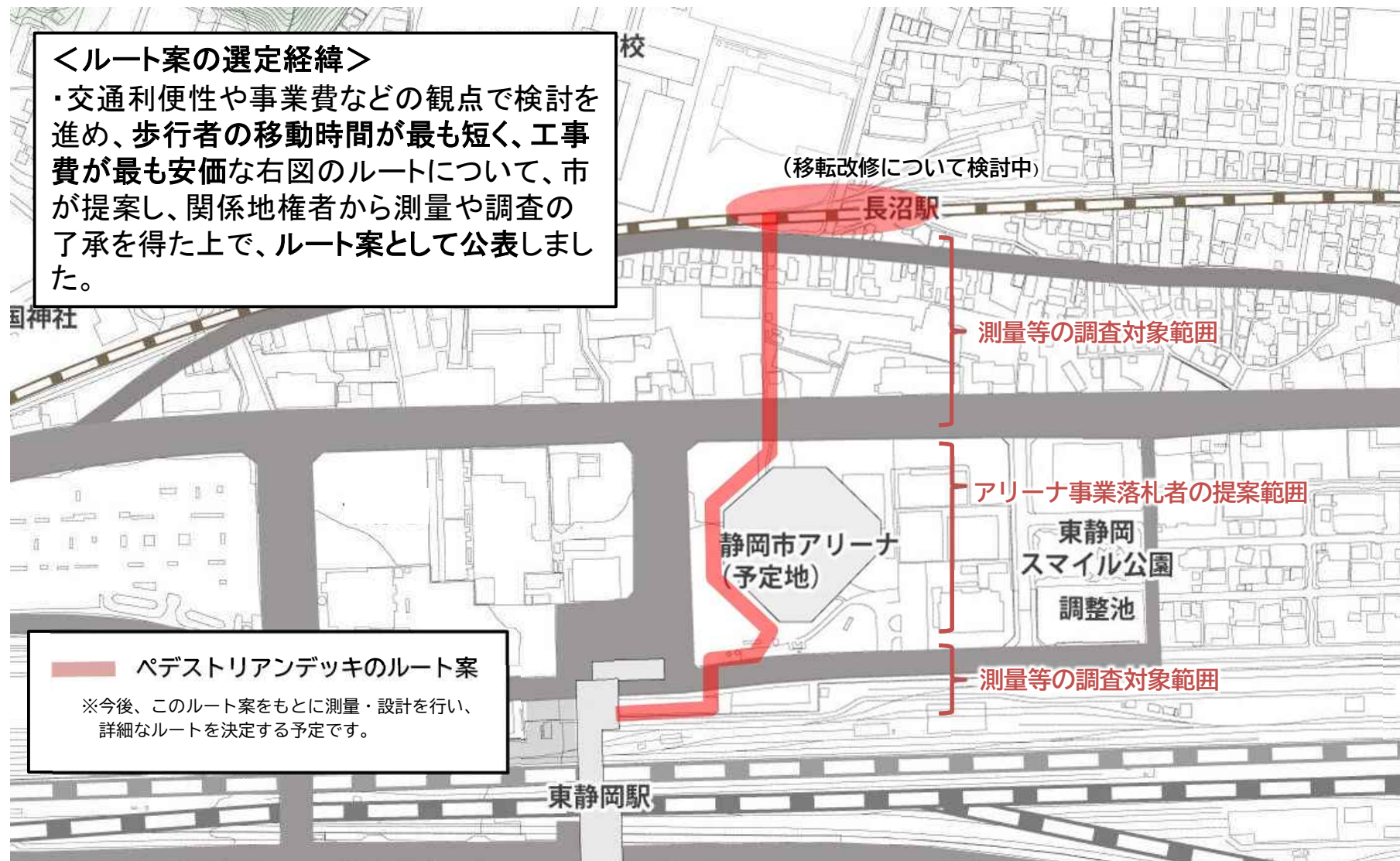
- 東静岡地区のめざす姿を踏まえ、交通利便性や事業費のほか、交流・滞在の創出や住環境との共存などの観点から、最適なルートを選定します。



出典：東静岡地区まちづくり基本構想（令和7年8月策定）

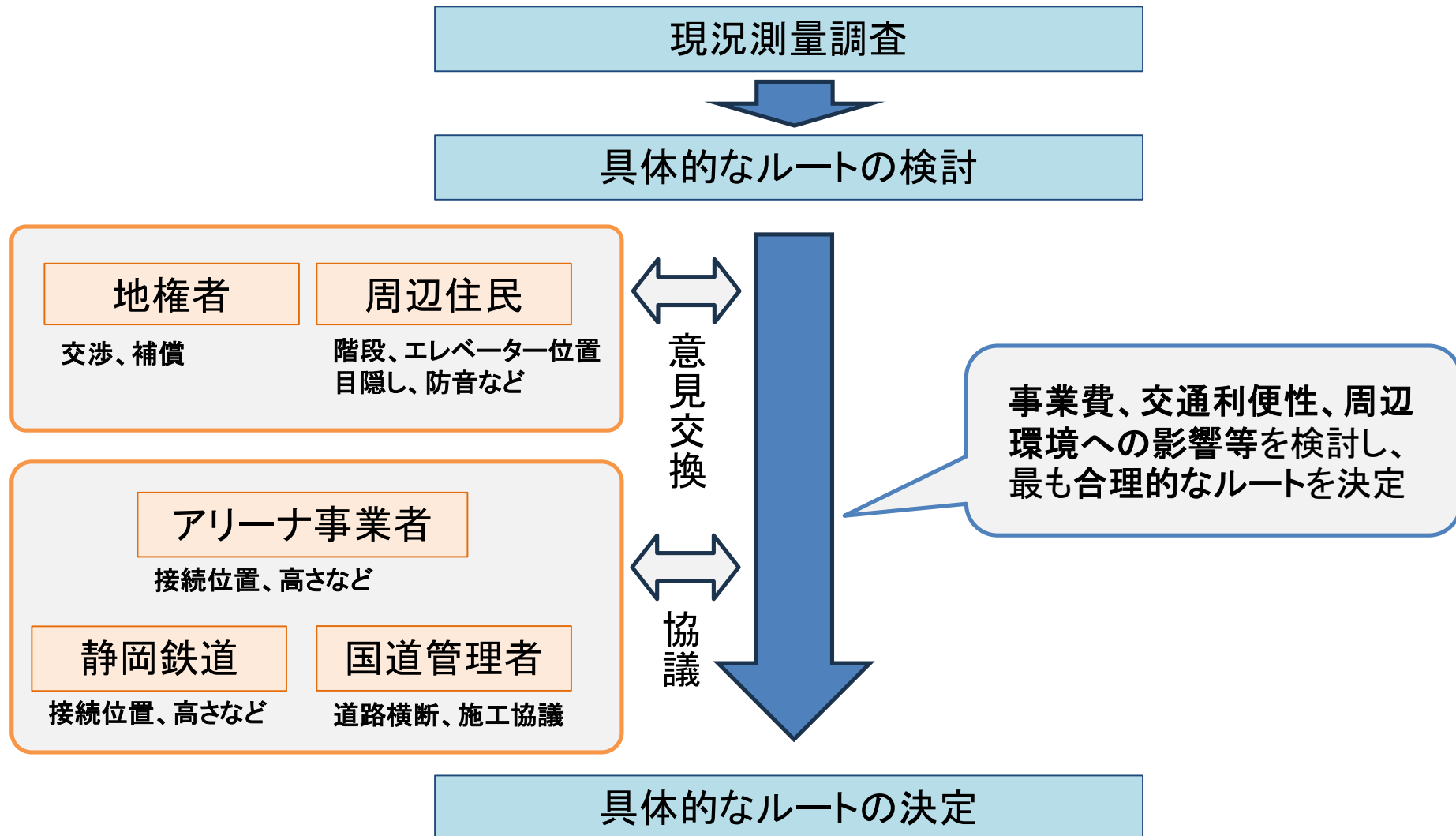
1 ペDESTロリアンデッキの検討状況

(2) 現在のルート案について (2026年3月25日公表)



1 ペDESTロリアンデッキの検討状況

(3) 今後のルート決定に向けた流れ



1 ペDESTロリアンデッキの検討状況

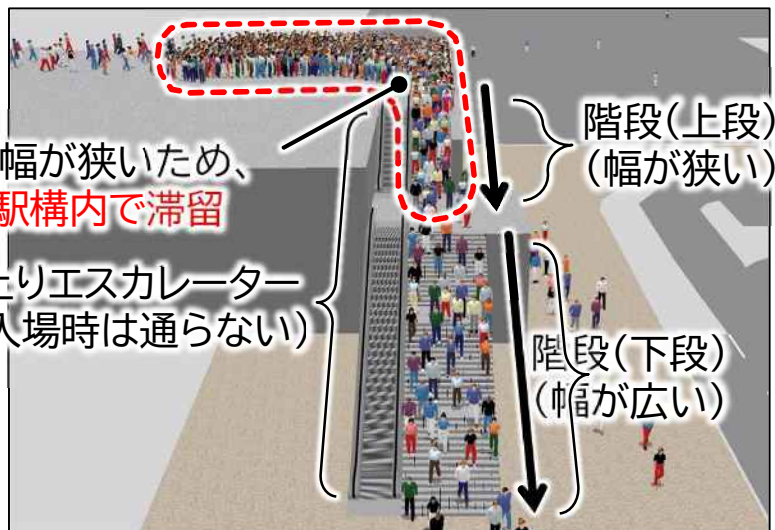
【ペDESTロリアンデッキがない場合】

電車が到着し、来場者が降車して一斉にアリーナへ移動

●入場時

階段の通行幅が狭いため、
来場者が**駅構内で滞留**

上りエスカレーター
(入場時は通らない)



【ペDESTロリアンデッキがある場合】

ペDESTロリアンデッキをアリーナへ
直結、**十分な幅員を確保し、両側通行可**



分散退場を行うものの、駅周辺でJR利用者が入場時より集中

●退場時

上段の通行幅が狭く、
JR利用者が**階段や駅付近で滞留**



退場時、ペDESTロリアンデッキを両
側通行し、**スムーズな流れを形成し
滞留を抑制**



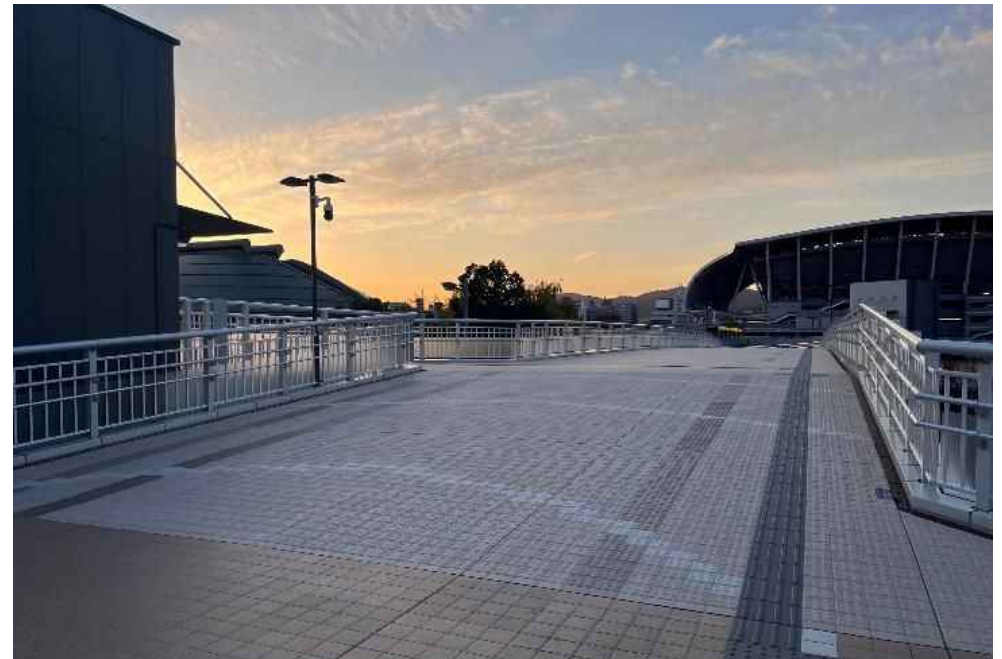
1 ペDESTロリアンデッキの検討状況

(4) 他都市の事例

【エディオンピースウィング広島（広島市）】



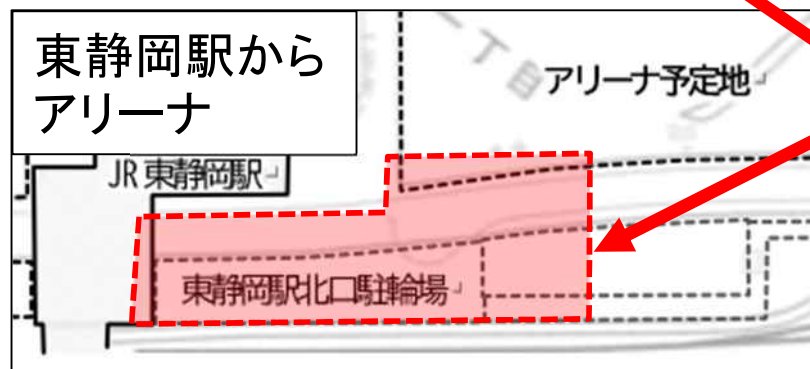
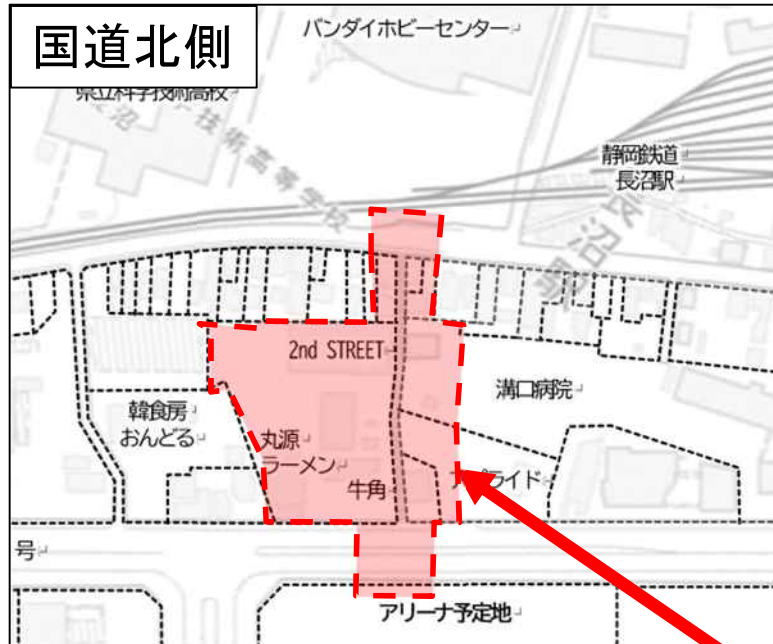
道路からペDESTロリアンデッキを望む



ペDESTロリアンデッキ上部を望む

2 現地測量調査

(1) 対象範囲



＜今回の測量調査の目的＞

ペDESTリアンデッキの具体的なルートや整備に必要な施工ヤードの検討に必要な、地形・地物の現状を把握するために調査します。

また、補償額算定のための用地測量、物件調査等も今後実施予定です。

今回の調査範囲

※調査の目安となる範囲を示しています

2 現地測量調査

(2) 測量作業について

<現地立入>

作業員は3名程度で、現地への立入に際しては、常に身分証明書または社員証を携帯する。

民地に立ち入る際は事前に一声かけてから作業をする。

<作業車両>

一般車両及び歩行者の通行の支障とならない許可を得た民地・官地に駐車し、ダッシュボードに車載看板(別紙1)を掲示して測量作業中である事を明確にする。

現場作業員



(別紙1) 看板

測量作業中	
業 務 名	令和7年度 東静岡地区ペDESTリアンデッキ概略設計作成業務
発 注 者	静岡市都市計画課 都市施設計画係 担当者:樋口、杉山、山本
請 負 者	株式会社オオバ静岡営業所 有我:070-7774-9388

2 現地測量調査

(2) 測量作業について

作業時間帯

作業時間	開始時間	9:00(8:45現地着)
	終了時間	17:00
休憩	昼休み60分 作業間で適宜10~15分程度	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の進捗によっては区切りとなる箇所まで作業時間を延長して行う。 ・特に夏季は、気象や気温、作業員の体調を考慮し、適宜小休止を取る。 ・作業時間内は禁煙とする。 	



現況確認



計測風景1



計測風景2

2 現地測量調査

(3) 作業日程

6月1日(月)～6月5日(金)	現地調査(道路上のみ)
6月8日(月)～6月12日(金)	現地調査(東静岡駅からアリーナ)
6月15日(月)～6月19日(金)	現地調査(国道北側民地内)
6月22日(月)～	測量結果整理・図面作成

3 周辺環境への対策

(1) 工事中の騒音・振動等の対策

杭打ち工事等で発生する騒音や振動への対策

対策①：工法の選定

- ・ 低騒音、低振動工法を優先的に検討

対策③：施工時間の配慮

- ・ 騒音・振動の発生する施工を近隣と調整

対策②：物理的な対策

- ・ 防音パネル等の設置
- ・ 低騒音重機の使用

対策④：監視体制の構築

- ・ 騒音・振動計を設置し、24時間監視
- ・ 近隣へのモニタリング調査を実施



防音パネル



騒音・振動計

3 周辺環境への対策

(2) 整備後の騒音・視線の対策

ペDESTリアンデッキについては、手すりだけではなく、防音壁等を検討します。

下の写真は、JR清水駅から清水さくら病院に向かうペDESTリアンデッキを参考に、防音壁等を設置した場合をイメージしたものです。



騒音・視線の対策の1例

本画像はAI (Gemini) によって生成しています。

4 今後のスケジュール

東静岡地区ペDESTリアンデッキ 整備スケジュール (案)

2026(令和8年度) 基本設計(測量・構造検討・概算工事費算出)

2027(令和9年度) 実施設計(設計積算・図面作成・数量計算)

2028~2029(令和10~11年度) ペDESTリアンデッキ工事

※スケジュールについては現時点でのものであり、変更する可能性があります

まちづくりの取組状況について (長沼地区からの要望事項とその対応)

2026年 6月8日 (月)

目次

- 0 長沼地区からの要望事項（令和7年11月14日）
- 1 静岡南北道路 長沼立体の取組状況
- 2 用途地域等の見直しに関する取組状況
- 3 東静岡1号調整池の活用
- 4 非常時の給水計画
- 5 旧東海道の安全対策
- 6 ①谷津山の保全・活用
②AIオンデマンド交通（チョイソコしずおか）

0 長沼地区からの要望事項(令和7年11月14日)

1. 長沼大橋の早期改修をはじめ、安全で円滑な交通環境の整備を図ること。
2. 用途地域の変更にあたっては、地域住民の理解を得たうえで慎重に検討すること。
3. スマイル公園横の調整池の駐車場等への活用にあたっては、地域住民の安全と利便性を十分に考慮すること。
4. 東静岡周辺地域の防災力強化策として、耐震性貯水槽の設置を推進すること。
5. 市道旧東海道線について、景観と住民および東海道をウォークする人々の安全性を高めるため、歩道の整備や松の植樹、一里塚跡の整備等の事業を実施すること。
6. 谷津山の里山公園化など、東静岡周辺環境の向上に資する事業を推進すること。

1 静岡南北道路 長沼立体の取組状況

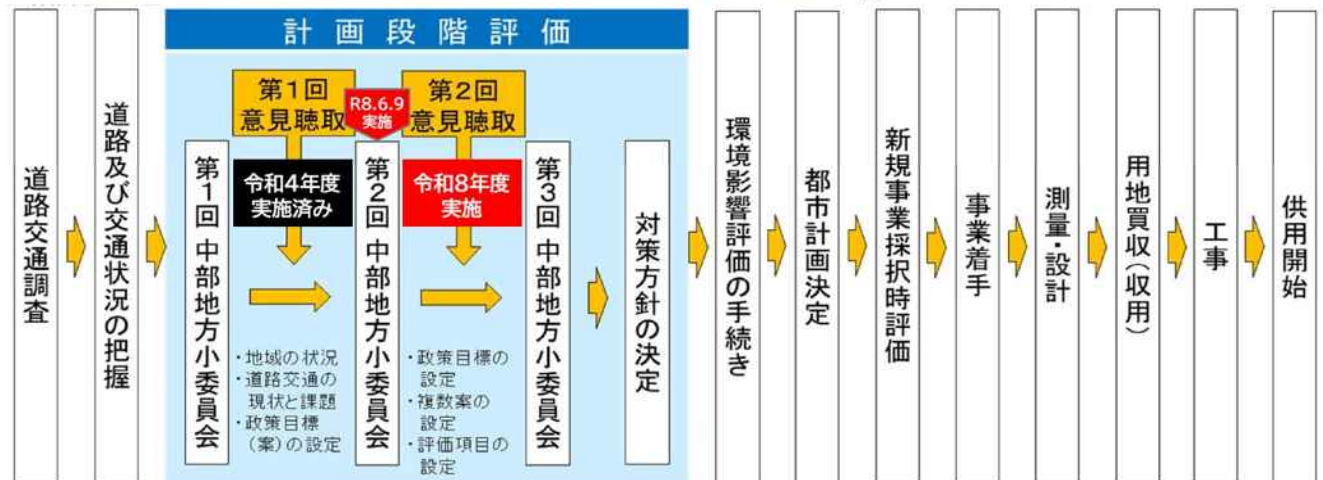
- 長沼大橋は架設後60年以上が経過し、老朽化が進行。さらに、大規模地震時に落橋が懸念されるロッキング橋脚であり、耐震対策が必要であることから、令和7年度より、静岡市において、耐震補修工事を実施。
- 国道1号長沼交差点では、慢性的な渋滞が発生していることから、国・静岡市が連携し、「静岡南北道路長沼立体」を検討。令和4年度に計画段階評価に着手。令和8年6月9日に第2回計画段階評価を実施予定。



(①:南から長沼交差点を望む)



(②:東京方面から長沼交差点を望む)

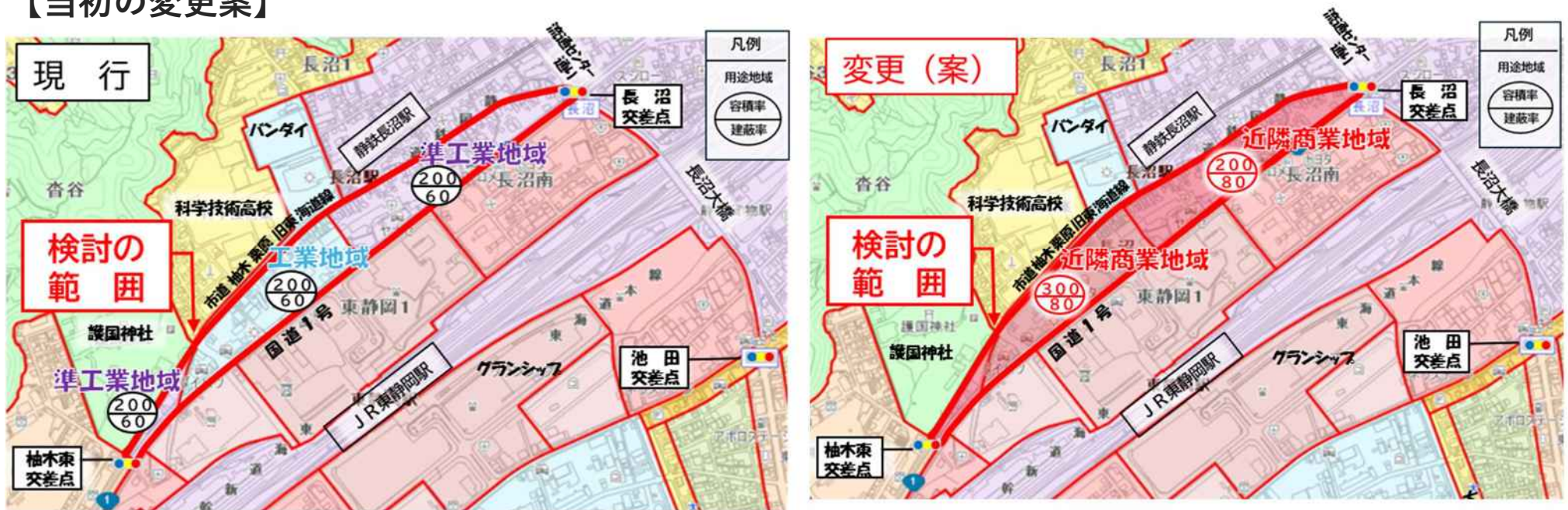


2 用途地域等の見直しに関する取組状況

【取組の概要】

- ・より自由かつ高度な土地利用を可能とし、商業施設やホテル等が立地しやすくなるよう、土地の使い方やまちの密度のルールをバランスよく変えていくことを検討する。

【当初の変更案】



【地域の意見と今後の方針】

- ・住民の皆様からは、来訪者の増加による住環境への影響について、事業者の皆様からは、工場の規模や使用する機械の制限などについて懸念する意見があった。
- ・今後は、住環境や工場など地域の实情に配慮して、見直すエリアと見直さないエリアを分けて検討していく。

3 東静岡1号調整池の活用

調整池の機能を確保したコインパーキングに暫定活用！



before

令和8年4月5週目から駐車場としての運用を
スタートしています

利用料金:

3時間300円(全日)

12時間600円(平日)700円(土日祝)

◎東静岡1号調整池 利用状況 (5/27迄の利用状況)

利用台数	1w	2w	3w	4w	5w	合計
4月	—	—	—	—	63	63
5月	233	99	106	20	—	458

利用料金	1w	2w	3w	4w	5w	合計
4月	—	—	—	—	23,000	23,000
5月	76,900	35,600	36,100	7,800	—	156,400

※月曜日始まりで集計しています。

調整池駐車場 利用者アンケート

◎利用目的

公園利用 (75%) ・ 近隣施設の利用 (21%) ・ その他 (4%)

◎利用料金

とても安い (22%) ・ 安い (27%) ・ 適正 (39%) ・ 高い (10%) ・ とても高い (1%)

◎今後も利用したいか

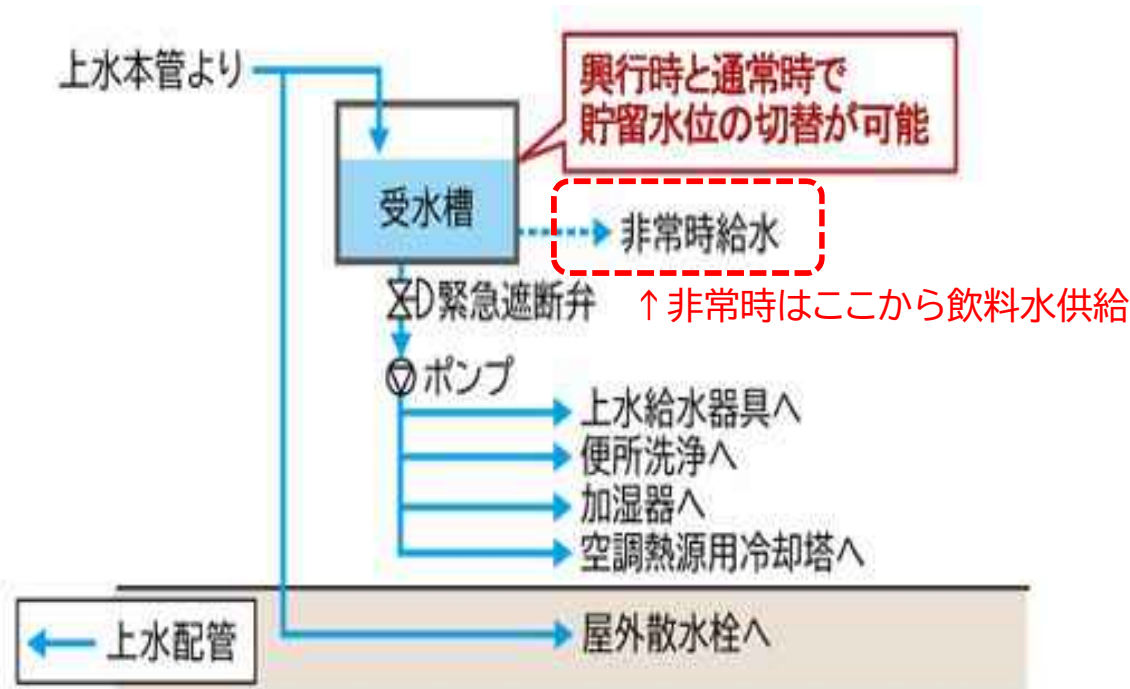
ぜひ利用したい (40%) ・ できれば利用したい (55%) ・ 利用しない (4%)

◎その他の要望

- ・ 1時間単位があると良い
- ・ 公園は駐車場がないと思っていないので駐車場ができて嬉しい

4 非常時の給水計画

アリーナで計画している給水計画



耐震性貯水槽と同等の機能を持つ給水計画となっています

【アリーナで計画している給水計画(下右図参照)】

(「資料2 アリーナの進捗状況について」スライド10で記載済)

災害・地震時にも飲料水を確保できる給水設備として、直接給水が可能な給水栓を備えた耐震性のある受水槽を設置します。

なお、具体的な受水槽の容量については、今後事業者との協議により決定します。

5 旧東海道の安全対策

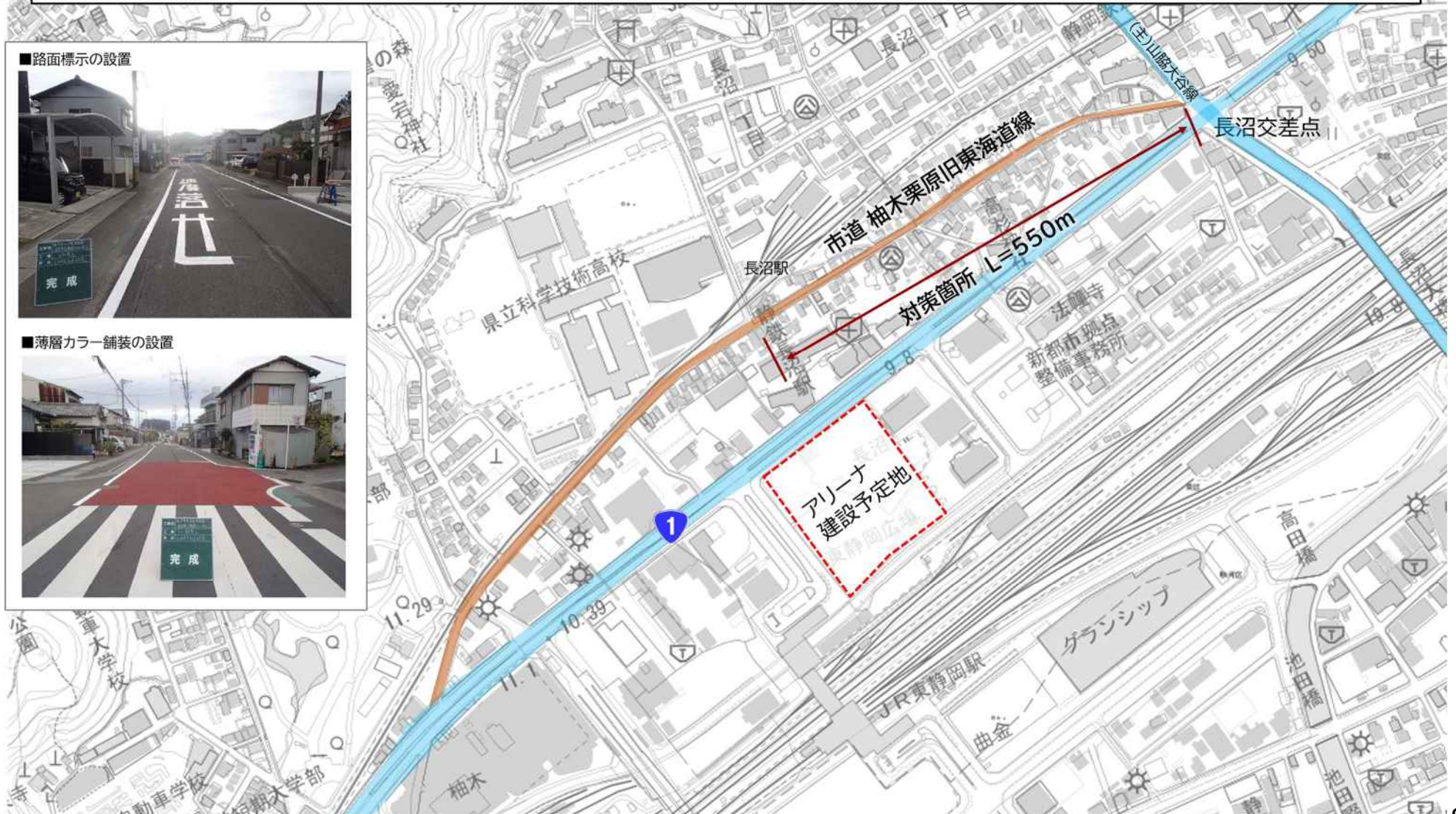
○旧東海道は、幹線道路の抜け道として利用されており、スピードを出す車が多く、危険な状況。

○長沼駅から（主）山脇大谷線までの区間において、安全対策として、路面標示や、薄層カラー舗装による注意喚起を行い、速度抑制を図った。R8.3月実施済み

■路面標示の設置



■薄層カラー舗装の設置



6 ①谷津山の保全・活用 – 谷津山保全活用方針 –

谷津山保全活用方針の作成

- 谷津山の保全や活用に関わってきた地権者や市民団体の人々(谷津山保全活用検討会議)とともに、谷津山の将来像や取組の方向性を検討し、令和8年4月に谷津山保全活用方針を策定した。

【令和7年度の取組】

保全活用検討会議※1
での調査・検討

地権者※2への
意向調査

イベントや活動等
での意見募集

市民協働での
現地の環境改善

保全活用に関わる人々の
“共通の思い”を集約



●コンセプトと将来図

自然と歴史にふれる まちなかの森 谷津山
URBAN FOREST YATSUYAMA



●保全活用の基本方針と具体取組

基本方針1

谷津山の自然や歴史を守り育てる

具体取組

- (1)放任竹林対策や里山環境保全の推進
- (2)学びや体験による保全活用の意識醸成
- (3)一体的な保全活用に向けた地権者との連携

基本方針2

みはらしスポットと登り口の魅力向上

具体取組

- (1)放任竹林の伐採による眺望の確保
- (2)自然を感じ、親しむことができる環境づくり
- (3)分かりやすくアクセスしやすい登り口

基本方針3

散策して楽しめる道づくり

具体取組

- (1)自然を楽しむ沿道景観の創出
- (2)安全で散策しやすい道の整備
- (3)安心して楽しめる案内サインの充実

※1：静岡市と市民団体や地権者、ハイキングイベント団体等が参加

※2：頂上部の公園や散策道周辺など保全活用に重要な区域の地権者を対象に実施

6 ①谷津山の保全・活用 – 保全活用に関する取組状況 –

市民共創で保全活用に取り組む谷津山

- 谷津山は身近に自然や歴史を楽しめる里山で、地権者や市民団体により貴重な自然環境が守られてきた。
- 東静岡駅周辺のまちづくりや谷津山でのハイキングイベント等を通じて、谷津山の保全活用の機運が高まっており、「里山公園」として官民が連携して様々な活動を実施している。



保全活用検討会議による
現況調査や保全活用方針の作成



地域住民や地元学生等との協働による
散策道などの環境整備



登って魅力を体験するイベント
谷津山ハイキング



市民団体により長年実施されてきた
放任竹林対策活動

6 ②AIオンデマンド交通(チョイソコしずおか) タクシーよりも手軽にバスよりも近くまで

- ・会員登録数**400人**を超えました！
- ・時刻表がなく、**自分が乗りたい時間**に予約できます！
- ・予約は**乗車時間の30分前**まで可能です！
- ・通院や買物に、日常生活のチョイとソコまで、にご利用できます！
- ・近距離でのタクシー利用を気にされていた方も**チョイソコは定額料金**のため、気にせず利用できます！

《事業概要》

- 【運行方式】区域運行(AIオンデマンド交通・停留所間運行)
- 【運行期間】2026年4月1日から2027年3月31日まで
- 【運行日・時間】平日のみ(土日祝日運休) 8時~16時30分
- 【車両】定員10人以下の車両2台(ハイエース)
- 【会員登録】オンライン・郵送
- 【予約・決済】(予約)インターネット及び電話
(決済)キャッシュレス及び現金
- 【運賃】400円/回 ※県立総合病院は600円
回数券11枚綴り4,000円(1回分お得)
- 【停留所】111箇所
エリア外1箇所(県立総合病院)
「目的地停留所」「住宅地停留所」2タイプ設置
- 【受託者】静岡市医療福祉AIオンデマンド地域交通実証業務
事業者グループ
代表事業者:しずてつジャストライン株式会社
構成員 :株式会社アイシン、株式会社静岡銀行、
静岡鉄道株式会社、静鉄タクシー株式会
社、トヨタユナイテッド静岡株式会社



AIオンデマンド地域交通実証業務

チョイとソコまで、ごいっしょに

チョイソコ
しずおか

会員登録・乗車申し込みはコチラから



チョイソコしずおか LINE公式アカウントはコチラから



108 長沼公民館

お問合せ ☎ 050-2030-5905

LINE及びLINEヤフーロコは、LINE ヤフー株式会社の登録商標です。